

代表質問通告書(令和4年12月定例会市議会)

質問 順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答 弁 順 序	答 弁 者
1	そらいろ白杵 平川 幸司	1. ユネスコ創造都市ネットワーク加盟について	(1) 認定後のこれまでの取り組みを踏まえ、加盟したことをどう捉えているのか (2) 加盟したことを今後のまちづくりにどのように活かしていくのか (3) 今後の方針と政策、具体的な取り組みはあるか		
		2. 白杵山内流について	(1) 白杵山内流200周年について (2) 白杵山内流の今後について		
2	鴻治会 匹田 郁	1. 中野市長の施政方針及び予算編成方針について	(1) 四期目の中野市長は、昨年と今年、それぞれ施政方針及び予算編成方針について公表している。そこで、今日までの総括を伺いたい。 (2) 現在、来年度の予算編成を行なっている最中で在ると思うが、重点事業は何か、又、予算編成で、どの様に取り組もうとしているのか伺いたい。		
		2. 小中学校の適正規模・適正配置について	(1) 白杵市には、令和4年4月1日現在、小学校13校に児童1,576名、中学校5校に生徒860名の合計2,436名が在籍している。これからの児童・生徒数を考えると、適正規模・適正配置は避けて通れない重要な案件であると思う。そこで教育委員会として、将来に向けた取り組みについて伺いたい。		
3	みらい白杵 内藤 康弘	1. 風水害などによる停電対策について	最近の気象災害は、過去のものとは違い、甚大な被害をもたらします。ゲリラ豪雨、線状降水帯など以前は、聞いたことがない気象用語が天気予報等で使われています。特に近年は、台風の大型化により毎年の様に国内のどこかで大きな被害が発生しています。白杵市も例外ではなく、本年発生した台風14号により農地の崩落などの被害がありました。インフラ関係では、停電が3日間続く被害が白杵地区、野津地区共に発生し、市民生活に大きな影響を与えました。電気は、生活する上で非常に重要なツールであり、欠かせないものです。今後、安全安心な市民生活を保つ観点から、停電をできるだけ未然に防ぐ事前措置を考える必要があると思われまます。 (1) 野津地域の台風災害の停電は、倒木でした。昨今、自治体と電力会社が協定を結び事前伐採を行うケースがありますが、白杵市としての考え方を伺います。		
		2. 野津地域の公営住宅について	野津地域の公営住宅には、県営と市営があります。古いものは、昭和40年代に建てられ、老朽化がかなり進んでいます。また、物件によっては、入居がなく空室が多い様に見受けられます。 (1) 現在の入居状況を伺います。 (2) 令和6年度からの改修計画について伺います。 (3) 入居条件を変更できないか伺います。		